

取扱説明書

ちよい録® 防水12インチ 内蔵メモリ搭載
TV/DVDポータブルプレーヤー



- この度は、お買上げ頂き、まことにありがとうございます。
- ご使用前に『安全上のご注意』(3～4ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに保管してください。
- 保証書は『お買上げ日・販売店』等の記入を確かめ、大切に保管してください。
- この取扱説明書に載っている画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。
- 付属のテレビアンテナをご使用しての視聴では、ご使用の場所や地域によっては電波が入り難い場合がございます。
 - ・窓から遠い奥の部屋・高層ビルの近く・山間部・電波塔から遠い場所
 - ・強い電波を発する近く

付属のテレビアンテナをご使用する際は、電波状況がいい場所でご使用ください。
電波が入り難い状況では、室内アンテナ端子に接続してのご使用をお勧めします。
特に、録画をする場合には室内アンテナをご使用ください。

■安全上のご注意

■はじめに

■再生できるディスク/ファイル

■各部の名称

■接続と準備

- ・リモコンについて
- ・レンズ保護カバー
- ・電源の接続

■【DVD/CD】ディスクの再生

- ・基本操作[DVD/CD]
- ・その他の操作[DVD]
- ・その他の操作[CD]

■【CD】CDを録音する

■外部メディアを再生する

- ・SDカードに記録されたデータを再生

■テレビを見るための準備

- ・注意事項
- ・miniB-CASカードを挿入する
- ・miniB-CASカードを抜くとき
- ・アンテナの接続
- ・放送局のスキャン

■テレビを見る

- ・基本的な操作
- ・設定ボタンでできること

■【テレビ】録画・予約・再生

- ・注意事項
- ・録画・予約
- ・録画した番組を再生・削除する

■外部機器と接続する

■車載用バッグの取り付け方

■システム設定

■故障かも・・・と思ったら

■製品仕様

■アフターサービスとお問い合わせ

■保証書

■メモ

もくじ

安全上のご注意	P3・4
はじめに	P5・6
再生できるディスク/ファイル	P7・8
各部の名称	P9・10
接続と準備	・リモコンについて…………… P11 ・レンズ保護カバー…………… P12 ・電源の接続…………… P12・13
【DVD/CD】ディスクの再生	・基本操作[DVD/CD]…………… P14・15 ・その他の操作[DVD]…………… P16～19 ・その他の操作[CD]…………… P20～22
【CD】CDを録音する	・CDを録音する…………… P23～25
外部メディアを再生する	・SDカードに記録されたデータを再生…………… P26～31
テレビを見るための準備	・注意事項…………… P32 ・miniB-CASカードを挿入する…………… P33 ・miniB-CASカードを抜くとき…………… P33 ・アンテナの接続…………… P34 ・放送局のスキャン…………… P34
テレビを見る	・基本的な操作…………… P35～37 ・設定ボタンでできること…………… P37・38
【テレビ】録画・予約・再生	・注意事項…………… P39 ・録画・予約…………… P40～42 ・録画した番組を再生・削除する…………… P43・44
外部機器と接続する	P45
車載用バッグの取り付け方	P46
システム設定	P47～49
故障かも・・・と思ったら	P50・51
製品仕様	P52
アフターサービスとお問い合わせ	P53
保証書	P54
メモ	P55・56

安全上のご注意

電池について



電池は火や直射日光などの過激な熱にさらしたり、分解・改造・ショートしないでください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

防水について（本体・リモコン）



防水仕様（IPX7級防水相当）で特定条件で一時的に水没しても内部に水が入りませんが、以下の点に十分ご注意ください。

1m以上の水深に沈めないでください。

ディスクカバーを開閉する時は十分に水滴をふき取り、水のかかる恐れのない場所に運んでから乾いた手で行ってください。

風呂、シャワー室などの水まわりではディスクカバー、ジャックカバーが確実に閉まっていることを確認してご使用ください。

風呂、シャワー室などの湿度の高い場所には長時間放置しないでください。

30分間以上水中に沈めないでください。故障の原因になります。

ディスクカバー、ジャックカバーまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないように注意してください。また、ゴムパッキンにゴムなどが付着した場合、水がかかる恐れのない場所でやわらかい布でふき取ってください。

水中で使用したり、ディスクカバーやジャックカバーを開いた状態で水まわりで使用されると内部に水が浸入する恐れがあります。水の浸入による製品の故障については保証期間内でも保証対象外となりますので、ご注意ください。

本機の取り扱いについて



アンテナ工が必要な際は、販売店または専門業者にご相談ください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

振動や衝撃のある場所、高い場所、傾斜した場所に置かないください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

ひび割れや変形、修復したディスクは使用しないでください。本機の内部で割れて飛び散ると、けが・故障の原因になります。

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見つめたりしないでください。視力障害・失明の原因となります。

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないように注意して下さい。聴力障害の原因になることがあります。

お手入れについて



お手入れの際は安全のためにACアダプタ、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因になることがあります。

定期的にACアダプタ、電源プラグのほこり掃除を行ってください。火災・故障の原因になることがあります。

定期的に通気孔等に付着したほこりやごみを取り除いてください。長期間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。内部の掃除が必要な場合は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

移動について



移動させるときは、接続されている線などをすべて外してください。電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を『警告』、『注意』の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。例) 『分解禁止』を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。例) 『電源プラグを抜く』を表す絵表示

本機の取り扱いについて



本機の上や近くに金属物や燃えやすいもの、火のついた口ウソク等を置かないでください。火災や感電の原因になります。

本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。

異常に温度が高くなることや、直射日光が当たる場所には置かないでください。火災の原因や、外装ケース・内部部品が劣化する原因になります。

湿気やほこりの多い所、油煙や、湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。火災・感電の原因になります。

本機使用中は、風通しの悪い狭い所で使用したり、布・布団・保温材などで覆ったり包んだりしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしないでください。たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

異常・故障時について



異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

内部に水・金属類・燃えやすいものが入った場合
煙や焦げる臭い、異常音などの異常が発生した場合
落ちたり、キャビネットを破損した場合
電源プラグ、ACアダプタ、コードに損傷や異常な熱を持つ場合
電源が入ったり切れたりする場合

分解・改造について



本体、ACアダプタを含め、お客様自身による分解・改造・修理はしないでください。内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

雷について



雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れないでください。感電の原因になります。

はじめに

使用上のお願い

■設置するときは

本製品使用中に、近くにあるテレビ・ラジオ等の機器に画像や音声の乱れなどの悪影響が出る場合があります。その場合は離してご使用ください。

■お手入れするときは

・お手入れ時はアルコールやシンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。

■本体に水がかかった場合のお手入れ方法

本体に水がかかった場合は、下記の箇所を特に注意してご使用後すぐに水滴を拭き取ってください。
 表面：スピーカーに水がかかると音量が小さくなる恐れがあります。しっかりと水滴を拭き取ってください。
 裏面：裏面を上にして、水滴を拭いてからディスクカバーを開け、ディスクカバーロック、ディスクカバーの裏面、ゴムパッキン周りの水滴を拭き取ってください。
 側面：周囲の水分をしっかりと拭き取ってから端子カバーを開きます。開いたらゴムパッキン周辺の水分も拭き取ってください。

■移動や輸送するときは

・移動するときは、ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外してください。
 ・引越などでお送りするときは、購入時のパッキングケースに入れてください。
 ・移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

■長期間使用しないときは

・本体電源を切り、ACアダプタ・DCアダプタ（シガーソケット用）を抜いてください。ディスク、メモリーカードを取り外しておいてください。

■液晶パネルの特長について

・液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する。
 ・長時間同じ画像を表示すると残像（画面焼けのような症状）が出たり、パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。使用しない時は必ず電源をお切りください。

■結露について

冷たい場所から暖かい場所へ移動するとき、製品内部に水滴が生じる（結露する）可能性があります。結露が生じたまま使用すると故障の原因となりますのでご注意ください。また結露が生じた場合は、本製品を2～3時間放置した後でご使用ください。

■音のエチケットについて

楽しい音楽や、映画の音も、場合によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分いたしましょう。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

■防水について

・本製品はIPX7相当の防水性能を有しております。雨や水しぶきのかかる場所でも使用できますが、全ての状況での動作を保証するものではありません。
 ・本体とリモコン以外の付属品は防水ではありません。感電等の危険がございますので、ご注意ください。

本製品は日本国内専用です。海外で使用しないでください。

はじめに

使用上のお願い

⚠️ 防水製品のご使用前の注意事項

浴室やキッチンなどの水回りでご視聴される場合、以下の事にご注意ください。

- 水回りでのDVDディスクなどの交換はお避けください。
- 事前にDVDディスク等のセッティングを行ってからご使用ください。
- 浴室など湿気の多い場所で本製品を保管や放置しないでください、故障の原因となります。
- 本体の水滴を乾いたタオル等で十分拭き取ってから保管ください。
- 本体を振ったり揺らしたりしないでください、故障の原因となります。
- AC/DCアダプタまたは外部機器と接続したまま使用をしないでください、感電や故障の原因となります。
- 内蔵バッテリーのみでご使用ください。
- ディスク回転盤のパッキンなどを振ったり剥いたりしないでください、故障の原因となります。
- スタンドを引き上げて、本体を立たせるよう設置してください。

守っていただきたいこと

電波妨害について・・・

本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このときは、機器に影響のないところまで本機から離してください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください・・・

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合・・・

ご使用になる部屋（場所）の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

画面保護フィルムについて

画面を保護するために予め画面保護フィルムが隙間なく貼っています。そのまま使用すると汚れや、すり傷がつき画面が見にくくなります。画面保護フィルムをはがしてのご利用をおすすめします。



爪などで上記写真部分をひっかけ、画面保護フィルムを浮かして剥がしてください。

再生できるディスク/ファイル

再生出来るファイルの種類

種類	ファイル形式	拡張子
音声	MP3、WMA	.mp3、.wma
画像	JPEG	.jpg / .jpeg

- ・左表以外のファイルは本機で認識致しません。
- ・ファイルによっては再生できないことがあったり、正しく表示されない場合があります。

ディスクの取扱いについて

ディスクの保管

ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。再生後はディスクケースに保管してください。



ディスク使用上のご注意

ディスクは高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険なので使用しないでください。



ディスクに紙やテープを貼らないでください。ディスクを取出しできない原因となります。



ひびや反りのあるディスクは使用しないでください。



ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。

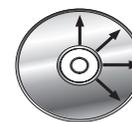
ディスクの取り扱い上の注意

ディスクを汚さないように、記録面には触れないでください。



ディスクの掃除

ディスクに指紋や汚れが着いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。



水滴が付いた時

やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。完全に乾いてからお使いください。

再生できるディスク/ファイル

再生できるディスクの種類

	ロゴマーク	サイズ	特性
DVD/ブルーレイ		12cm	映像+音声
		12cm	映像+音声 (VIDEOモード/ VRモード対応) ※ファイナライズ処理を行わないと再生できません。
音楽用CD		12cm	音声
CD-R/RW		12cm	音声 (CD-DA) ※ファイナライズ処理を行わないと再生できません。 音声 (MP3) 静止画 (JPEG)

- ・DVD-Rなどの記録メディアは、ファイナライズ処理されていないディスクの再生はできません。ファイナライズ処理の方法は、ご使用の録画/録音機器の取扱説明書をご覧ください(本機でのファイナライズ処理はできません)
- ・AVCHD/AVC Rec/HD Rec方式で録画されたディスクの再生はできません。
- ・DVD-ROM / DVD-RAM / DVD-Audioの再生はできません。
- ・記録済のディスクには、傷、汚れ、また記録状態やレコーダ、書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。
- ・市販ディスクの中には高度な処理を要求するものがあり、本製品では一部再生できないものがあります。
- ・著作権保護機能 (CPRM) 対応のディスクに録画された、地デジ/BS/110度CS放送には著作権保護のためにコピー制限信号が記録されています。本製品はCPRMのVRモード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

リージョンコード (地域番号) について

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは、発売地域ごとに著作権保護を目的に設けられたリージョンコード (地域番号) が決められています。本機で再生できるDVDのリージョンコード (地域番号) は "2" 又は "ALL" となります。

コピーコントロールCDについて

本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。

用語の説明

【タイトル】
DVDの映像または音楽は幾つかのユニットに分かれており、その中で最大のユニットをタイトルといいます。DVDソフトによっては、タイトルが1つのみのディスクもあります。

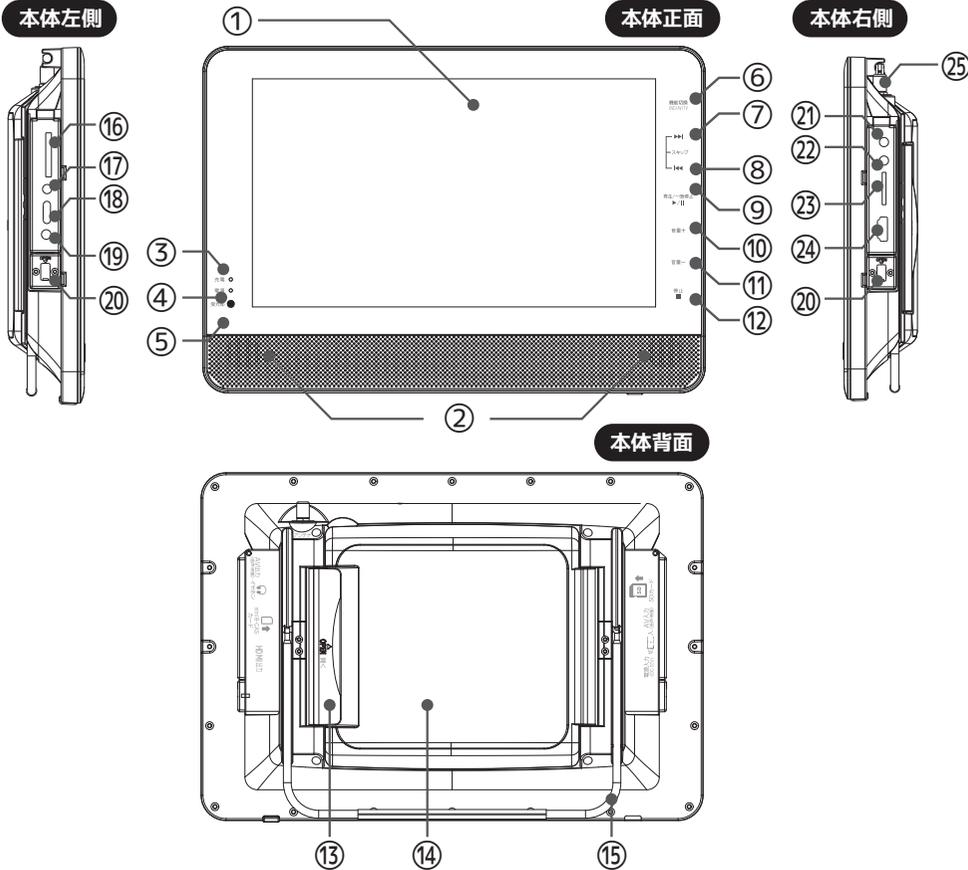
【チャプター】
タイトルは数個のチャプターからなり、各チャプターにはチャプター番号が付いています。DVDソフトによってはチャプター番号がついていないディスクもあります。

【トラック】
CDではディスクは複数のトラック (曲) に分けられています。各トラックにはサーチ用のトラック番号が付いています。CDソフトによっては、トラック番号が付いていないディスクもあります。



各部の名称

本体

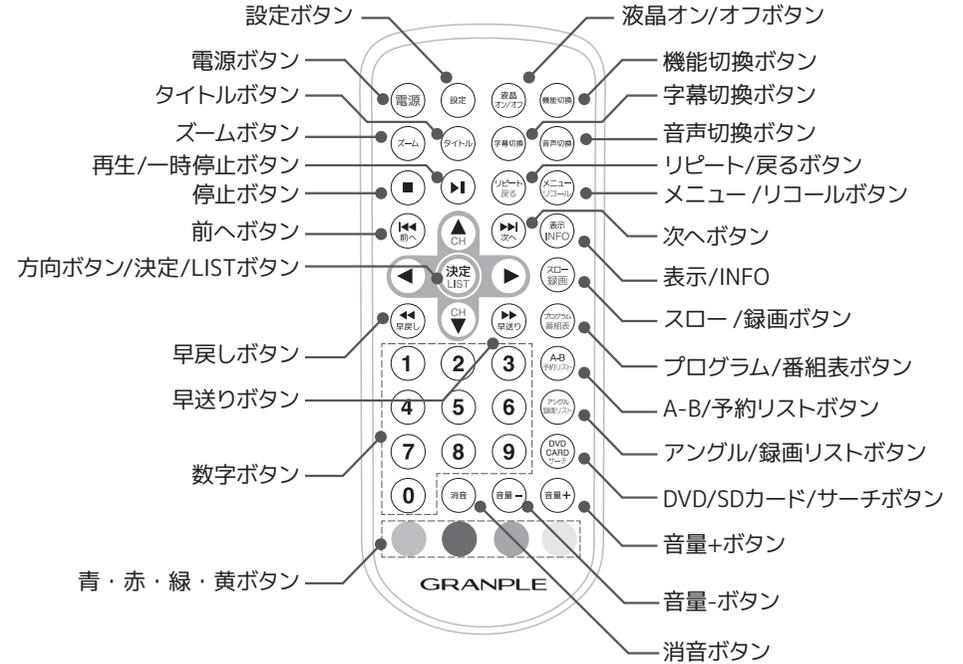


- | | | |
|--------------------|-------------|--------------------|
| ①ディスプレイ | ⑩音量ボタン(+) | ⑲電源端子 |
| ②スピーカー | ⑪音量ボタン(-) | ⑳端子カバーロック |
| ③充電LED | ⑫停止ボタン | ㉑AV出力端子 |
| ④電源LED | ⑬ディスクカバーロック | ㉒イヤホン出力端子 |
| ⑤リモコン受光部 | ⑭ディスクカバー | ㉓mini B-casカードスロット |
| ⑥機能切替ボタン | ⑮スタンド | ㉔HDMI出力端子 |
| ⑦スキップ/チャンネルボタン(次へ) | ⑯SDカードスロット | ㉕アンテナ入力端子 |
| ⑧スキップ/チャンネルボタン(前へ) | ⑰AV入力端子 | |
| ⑨再生/一時停止ボタン | ⑱電源スイッチ | |

※端子カバーを開ける時、端子カバーロックを下方へ押し、端子カバーをツメで引き上げてください。
 ※端子カバーを閉じる時、端子カバーを「カチッ」と音が聞こえるまでしっかりと閉めてください。
 ※閉じたあと、端子カバーロックがしっかりと上になっていることを確認してください。

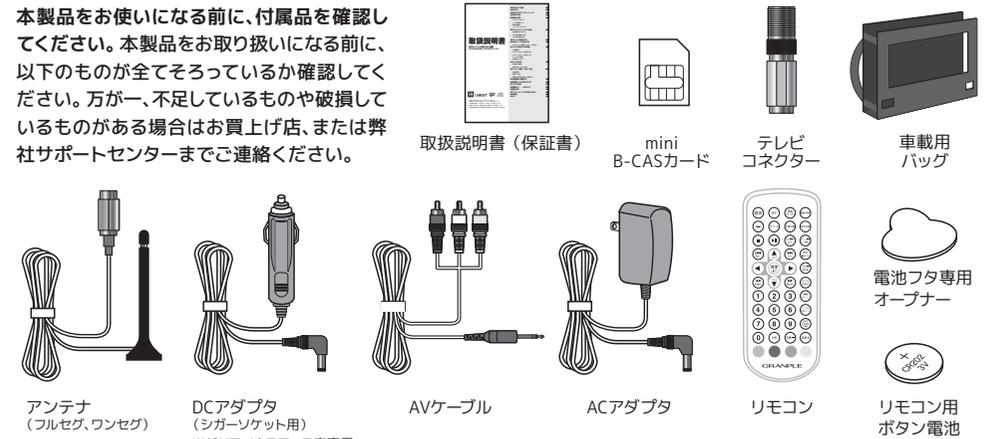
各部の名称

リモコン



付属品一覧

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください。本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



※製品仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

接続と準備

リモコンについて

電池の入れ方

ご使用になる前にリモコンに電池を入れてください。

電池仕様：
コイン型リチウム電池CR2025/直径20mm / 高さ2.5mm/電圧3V

- 1 リモコン裏側の電池フタを、電池フタ専用オープナー又はコインで外します。



- 2 電池を入れます。リチウム電池（CR2025）の「+」を上側にし、図のようにセットします。



- 3 電池フタを元に戻し、電池フタ専用オープナー又はコインでしっかりと閉めてください。



開ける



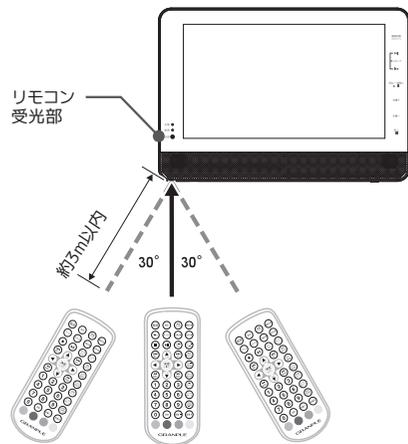
閉める

リモコンの使い方

- ・リモコンは、本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・リモコンの受光範囲は、受光部より3m以内、角度左右上下30度以内です。
- ・リモコンと受光部の間に、遮るものがないようにしてください。

△ 注意

- ・受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンが正常に作動しない場合があります。
- ・製品構造上、受光部が少し下向きに設置されています。操作をする場合は、本機の下の方から受光部へ向けて操作していただくと速やかな操作が可能です。

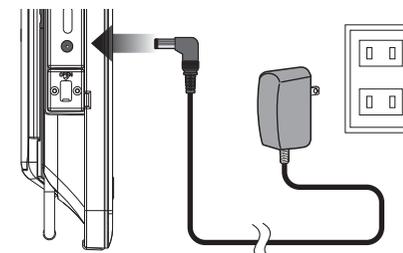


接続と準備

レンズ保護カバー/電源の接続

ACアダプタを使用する

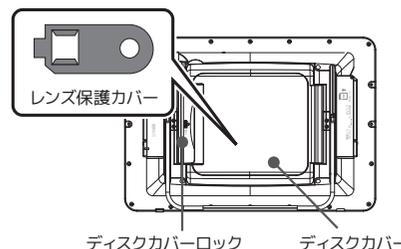
- 1 本体左側面の端子カバーを開け、電源端子に同梱のACアダプタを接続します。
- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 3 本体側面の電源スイッチを「オン」にします。
・本体の電源LEDが緑色に点灯します。



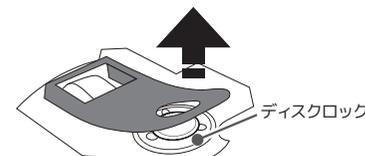
電源プラグをコンセントに差し込んでください。

はじめてお使いになる時は、下記のとおりでレンズ保護カバーを取り外してください。装着したまま電源を入れた場合、故障やお客様のディスクを破損させる原因となります。

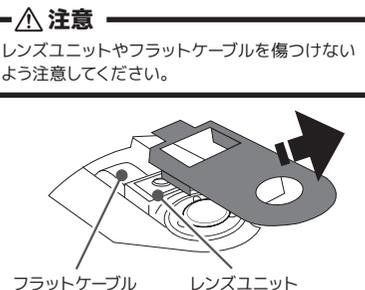
- 1 パネルを下にして、本体裏側のディスクカバーロックを引き上げ、ディスクカバーを開きます。



- 2 ディスクロックからレンズ保護カバーを上方向へ外します。



- 3 レンズ保護カバーをゆっくりと矢印の方向へ取り外します。



△ 注意

レンズユニットやフラットケーブルを傷つけないよう注意してください。

△ 注意

- ・家庭用100Vのコンセントに接続してください。
- ・必ず同梱のACアダプタを使用してください。
- ・使用中はACアダプタが熱を持ちます。ご注意ください。

接続と準備

電源の接続

DCアダプタ【シガーソケット用】を使用する

- 1 本体左側面の端子カバーを開け、同梱のDCアダプタ（シガーソケット用）を接続します。
- 2 車のシガーソケットにシガープラグを差し込みます。
- 3 本体側面の電源スイッチを「オン」にします。
・本体の電源LEDが緑色に点灯します。



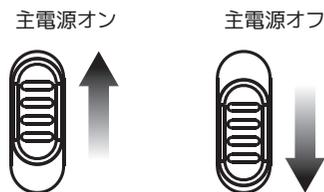
車内のシガーソケットに差し込んでください。

△ 注意

- ・同梱のDCアダプタは12Vのマイナスアース車専用です。車両電源に接続する前に、お車の仕様を確認してください。
- ・同梱のDCアダプタから電力を供給する場合、エンジン始動時はDCアダプタ（ソケット側）を抜いておいてください。
- ・エンジン回転数の上下によって電圧は変化します。本製品の電源回路に負荷がかかるので、アイドリング時の安定した状態でご使用ください。

本体主電源スイッチについて

本体側面の主電源スイッチを「オン」にスライドします。



電源のスタンバイ

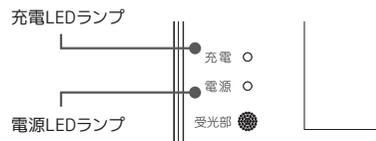
リモコンの「電源」ボタンを押します。

※主電源が入っていないとリモコンの操作はできません。

内蔵バッテリーについて

電源端子にアダプタを接続すると、自動的に内蔵バッテリーに充電されます。

- ・充電中は本体正面のLEDランプが赤色に点灯します。
- ・充電が終了すると、LEDランプが緑色に点灯します。



※充電中も視聴が可能です。
 ※充電時間の目安は約4時間です。
 （使用環境によって異なります）

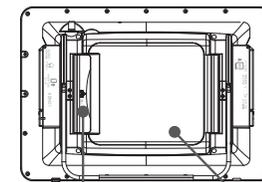
【DVD/CD】ディスクの再生

基本操作【DVD/CD】

ディスクの挿入と再生

※はじめてご使用になるときは、レンズ保護カバーを取り外してください。

- 1 パネルを下にして、本体裏側のディスクカバーロックを引き上げ、ディスクカバーを開きます。
- 2 レーベル面を上にして、ディスクをセットします。
- 3 ディスクカバーを手動で閉めます。



ディスクカバーロック ディスクカバー

- 4 AV、TVモードでご使用中の場合は、リモコン又は本体の「機能切換」ボタンを押して、DVDモードにします。
- 5 自動的に再生が始まります。
・ディスクによっては、自動で再生が始まらない場合があります。その場合には「再生/一時停止」や「決定」を押してください。

・メニュー画面から再生が始まるディスクの場合は「メニュー」ボタンを押し、「方向」ボタンで項目を選択し、「決定」ボタンを押してください。

一時停止

- 1 再生中に「再生/一時停止」▶|| ボタンを押します。再生中に押すと一時停止します。一時停止中は画面上部に一時停止の表示が出ます。
- 2 再生を再開したい場合は、再度「再生/一時停止」▶|| ボタンを押します。

【DVD/CD】ディスクの再生

基本操作【DVD/CD】

停止

- 1 再生中に「停止」■ ボタンを押します。
- 2 再生を再開したい場合は「再生/一時停止」▶|| ボタンを押します。
- 3 ディスクを完全に停止したい場合は「停止」■ ボタンを2回押します。

早送り/早戻し

※早送り/早戻し中は音が出ません。

- 1 再生中又は一時停止中に「早送り」▶▶「早戻し」◀◀ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で速度はかわります。



- 2 早送り/早戻し中に「再生/一時停止」▶|| ボタンを押すと通常再生に戻ります。

次へ/前へ

- 1 再生中または一時停止中に「次へ」▶▶| ボタンを押します。次のチャプターに移動し再生を始めます。
- 2 再生中または一時停止中に「前へ」|◀◀ ボタンを押します。前のチャプターに移動し再生を始めます。

※ディスクによって動作が変わる場合があります。

消音

- 1 「消音」ボタンを押します。音声が消え、画面に「消音」と表示されます。
- 2 消音前の音量に戻すには、もう一度「消音」ボタンを押します。

【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作【DVD】

音声切換

音声の選択をします。 ※複数の音声を記録したDVDディスク再生時に限ります。

再生中に「音声切換」ボタンを押します。再生している音声の種類が表示されます。

- ・ ボタンを押す度に音声が変わります。
- ・ 音声の種類や数は、DVDディスクによって異なります。
- ・ DVDディスクによっては、この機能は使えません。
- ・ 表示は約5秒後に消えます。

字幕切換

字幕の選択をします。 ※複数の字幕を記録したDVDディスク再生時に限ります。

再生中に「字幕切換」ボタンを押します。再生している字幕の種類が表示されます。

- ・ ボタンを押す度に音声が変わります。
- ・ 音声の種類や数は、DVDディスクによって異なります。
- ・ DVDディスクによっては、この機能は使えません。
- ・ 表示は約5秒後に消えます。

再生中の画面を拡大して表示します。

ズーム

- 1 再生中に「ズーム」ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で表示倍率はかわります。



- 2 拡大表示しているときに「方向」ボタンで画面の表示位置を移動できます。

- ・ 表示される倍率は実際の倍率とは異なり目安です。
- ・ ディスクによってこの機能は使えません。
- ・ 1/2、1/3、1/4の縮小表示では画面移動はできません。

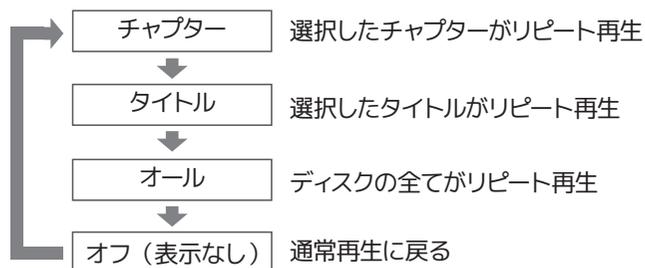
【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作[DVD]

ディスクのリPEAT再生をします。

再生中に「リPEAT」ボタンを押します。

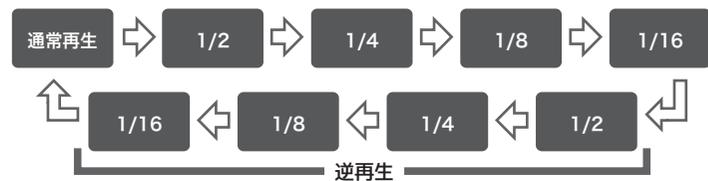
押すごとに下記の順序で順序で切りかわります。



再生中のディスクをスロー再生します。

① 再生中に「スロー」ボタンを押します。ボタンを押す度に再生速度が下記の順序で切りかわります。

押すごとに下記の順序で再生速度が変わります。



② 「再生/一時停止」ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

再生中のディスクを異なるアングルに切りかわって視聴します。

再生中に「アングル」ボタンを押します。ボタンを押す度に異なるアングルに切りかわります。

※マルチアングル機能のあるディスクに限ります。※アングル切替に対応していないDVDでは操作は無効になります。

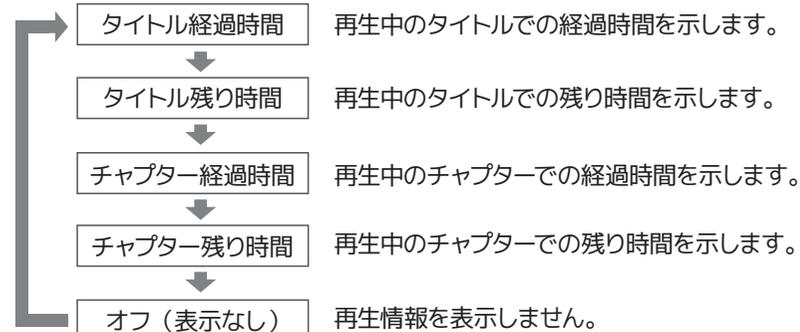
【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作[DVD]

ディスクの再生状況が表示されます。

再生中に「表示」ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で順序で切りかわります。



再生中に数字ボタンを使って、移動したいチャプター番号を指定します。

① 選択したチャプターから再生が始まります。

入力例 『4』を選ぶ場合：「0」→「4」と入力
『25』を選ぶ場合：「2」→「5」と入力

※再生中のDVDにないチャプター番号を指定した場合は、操作が無効になります。
※ディスクによって動作が変わる場合があります。

② 再生が始まります。

任意の部分を指定して繰返し再生をすることができます。

① 再生中、AB間リピートの開始点 (A) にしたいタイミングで「A-B/予約リスト」ボタンを押します。

② 次に、AB間リピート終了点 (B) にしたいタイミングで「A-B/予約リスト」ボタンを押すと、繰返し再生が始まります。

※A-B間リピート中の画面表示は消えません。

③ A-Bリピート再生中にもう一度「A-B/予約リスト」ボタンを押すと、A-Bリピート再生を終了します。

【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作[DVD]

好みの順番を指定してチャプター再生ができます。

- 再生中に「プログラム」ボタンを押します。



- 「方向」ボタンおよびリモコンの「数字」ボタンを使って、タイトル番号とチャプター番号を入力します。

- 「方向」ボタンを使って『スタート』を選択し、「決定」ボタンを押します。

※1番に指定したチャプターからプログラムの順に再生が始まります。
※デジタル放送を録画したディスクのプログラム再生はできません。
※20番目までプログラム再生の設定ができます。
※タイトル番号・チャプター番号を入力しないと画面上に「スタート」は表示されません。
※タイトルとチャプターについての説明はP7『用語の説明』をご覧ください。

- 「プログラム」ボタンを押してプログラム再生ウィンドウを表示します。

- 「方向」ボタンで『STOP』を選択し「決定」ボタンを押して設定内容を削除します。

- 『終了』を選択し「決定」ボタンを押します。

- 現在のシーンから通常の再生が続きます。

※設定内容を削除せず『終了』を選択すると、再びプログラム再生に戻ります。
※タイトル番号・チャプター番号を入力しないと画面上に「STOP」は表示されません。

DVDのメニュー画面が表示されます。

再生中に「メニュー」ボタンを押します。

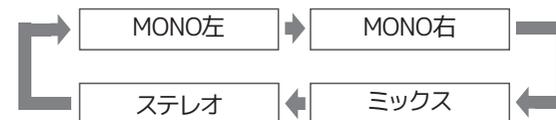
【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作[CD]

音声の選択をします。

再生中に「音声切換」ボタンを押します。

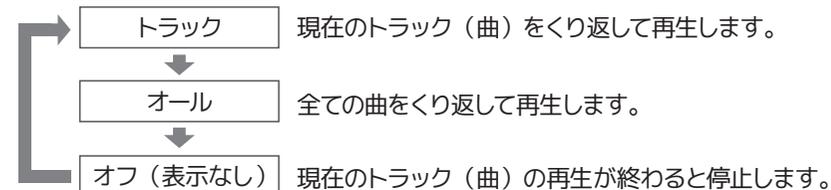
押すごとに下記の順序で音声切換が繰り返されます。



ディスクのリPEAT再生をします。

再生中に「リPEAT」ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で切換が繰り返されます。



任意の部分を指定して繰返し再生をすることができます。

- 再生中、A-B間リPEATの開始点 (A) にしたいタイミングで「A-B/予約リスト」ボタンを押します。

- 次に、A-B間リPEAT終了点 (B) にしたいタイミングで「A-B/予約リスト」ボタンを押すと、繰返し再生が始まります。

※A-B間リPEAT中の画面表示は消えません。

- A-BリPEAT再生中にもう一度「A-B/予約リスト」ボタンを押すと、A-BリPEAT再生を終了します。

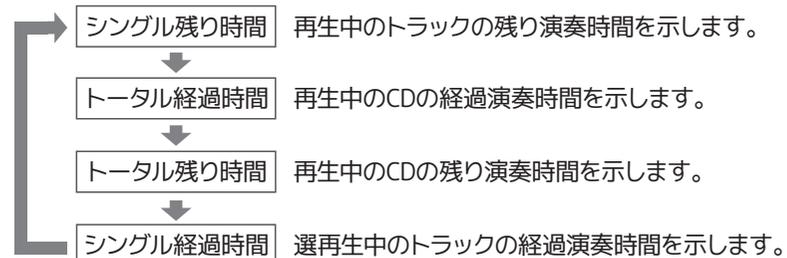
【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作[CD]

ディスクの再生状況が表示されます。

再生中に「表示」ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で切り替わります。 ※CDによって表示順序が異なる場合があります。



再生したいトラック番号を指定して再生します。

- 1 再生中に、リモコンの「数字」ボタンを使って再生したいトラック番号を指定します。

入力例

『4』を選ぶ場合：「0」→「4」と入力

『25』を選ぶ場合：「2」→「5」と入力

※再生中のCDにないチャプター番号を指定した場合は、操作が無効になります。

※ディスクによって動作が変わる場合があります。

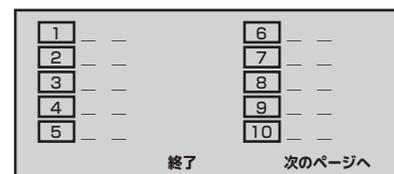
- 2 再生が始まります。

【DVD/CD】ディスクの再生

その他の操作[CD]

お好みの順番を指定して再生ができます。

- 1 再生中に「プログラム」ボタンを押します。



- 2 「方向」ボタンおよびリモコンの「数字」ボタンを使って、トラック番号を入力します。

- 3 「方向」ボタンを使って『スタート』を選択し、「決定」ボタンを押します。

※1番に指定したトラックからプログラムの順に再生が始まります。

※20番目までプログラム再生の設定ができます。

※トラック番号を入力しないと画面上に「スタート」は表示されません。

- 1 「プログラム」ボタンを押してプログラム再生ウィンドウを表示します。

- 2 「方向」ボタンで『STOP』を選択し「決定」ボタンを押して設定内容を削除します。

- 3 『終了』を選択し「決定」ボタンを押します。

- 4 現在のトラックから通常の再生が続きます。

※設定内容を削除せず『終了』を選択すると、再びプログラム再生に戻ります。

※トラック番号を入力しないと画面上に「STOP」は表示されません。

【CD】 CDを録音する

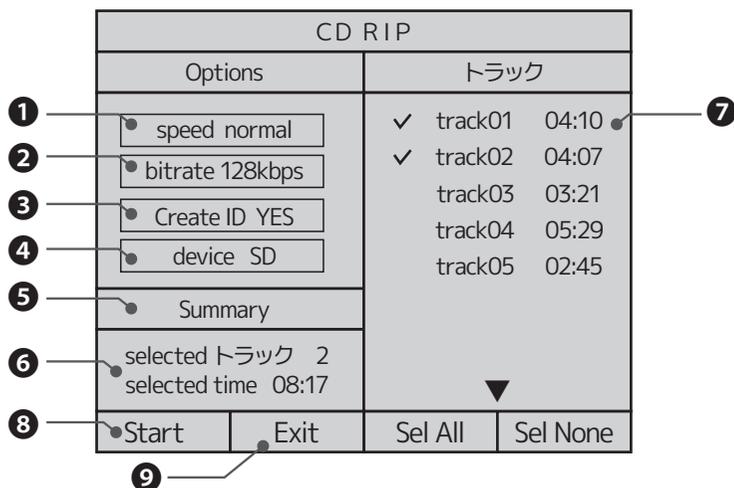
CDを録音する

⚠ 注意

録音に使用する外部メディアに重要なデータがある場合には、必ずバックアップをしてから録音をしてください。

- ・ 録音した曲は全てMP3形式で保存されます。
- ・ 外部メディアに空き容量が無い場合は「Device full !」と表示されて録音できません。
- ・ 「CD RIP」画面が表示されていると音量調整ができません。
- ・ 音量が0や消音状態で録音をしても、再生時の音質や音量に影響はありません。
- ・ 録音時に音量調整はできません。「CD RIP」画面を表示する前に音量を調整しておいてください。
- ・ 容量の大きい外部メディアを接続すると、読み込みに時間がかかる場合があります。
- ・ 本製品ではフォルダ名やファイル名の入力はできません。
- ・ 本機ではMP3/WMAファイル形式のディスクからの録音は出来ません。市販の音楽CDのみとなります。
- ・ 録音可能なメディアはSD/SDHC（最大32GB Class2～Class10）です。
- ・ 録音可能なフォーマットはFATまたはFAT32です。
- ・ VCDの録音はできません。

- 1 本機にSDカードをセットします。
 - 2 CDをセットし「字幕切換」ボタンを押します。
- 下記の録音設定画面が表示されます。



【CD】 CDを録音する

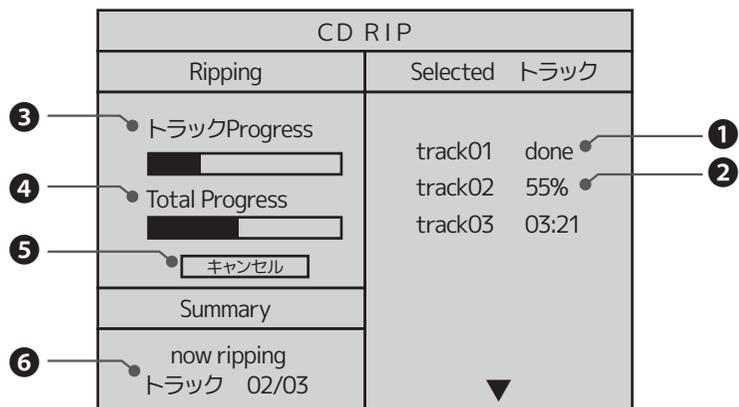
CDを録音する

項目	説明				
1 speed	「決定」ボタンを押すごとに録音スピードが切換えられます。 <table border="1"> <tr> <td>normal</td> <td>等倍速（録音中も再生を行います）</td> </tr> <tr> <td>fast</td> <td>高速（録音中は音が出ません）</td> </tr> </table>	normal	等倍速（録音中も再生を行います）	fast	高速（録音中は音が出ません）
normal	等倍速（録音中も再生を行います）				
fast	高速（録音中は音が出ません）				
2 bitrate	「決定」ボタンを押すたびにビットレートを変更できます。 96kbps → 112kbps → 128kbps → 192kbps → 256kbps → 320kbps <small>※ビットレートの数値が大きいほど高音質ですが、録音後のファイルサイズが大きくなります。</small>				
3 Create ID	・ TGA式ファイルを作成する/しないを選択します。				
4 device	録音するSDカードを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>SD</td> <td>SDカードに録音をします</td> </tr> <tr> <td>none</td> <td>何も差し込まれていない状態</td> </tr> </table>	SD	SDカードに録音をします	none	何も差し込まれていない状態
SD	SDカードに録音をします				
none	何も差し込まれていない状態				
5 selected トラック	選択した曲数を表示します。				
6 selected time	選択した曲の合計再生時間を表示します。				
7 トラック	CDに収録されているトラックリストを表示します。 1. 録音したい曲にカーソルをあわせて「決定」ボタンを押すと、左にチェックマークが表示されます。 2. 全て選択するには「Sel All」、全ての選択を取り消すには「Sel None」にカーソルをあわせ、「決定」ボタンを押します。				
8 Start	録音したい曲を選択している場合に、録音を開始します。				
9 Exit	録音画面を終了してCD再生画面に戻ります。				

- 3 『Start』を選択して「決定」ボタンを押してください。録音を開始します。

【CD】 CDを録音する

CDを録音する



- 1 録音完了
- 2 トラック録音進行状況
- 3 トラック録音進行ゲージ
- 4 全体録音進行ゲージ
- 5 録音中止
- 6 録音終了および録音中のトラック数/選択したトラック数

△ 注意

- ・ 録音を開始すると「RIP_xxx (xxxは数字)」というフォルダが作成され、録音された曲(トラック)はその中に保存されます。
- ・ 数種類のCDを録音しても、全て「RIP_xxx」フォルダ内に保存されます。
- ・ CDに入っている曲名は、録音時に反映されません。「TRACK001」「TRACK002」というファイル名で録音されます。
- ・ すでに同じ曲が収録されていても、録音操作を行うたびに保存されます。
- ・ 記録可能なフォーマットはFATまたはFAT32です。
- ・ ファイル名の変更・消去は本機ではできません。パソコンにて行ってください。
- ・ 録音を途中で中止したい場合、「決定」ボタンを押してください。それまでのデータが記録されます。
- ・ 録音中や録音画面表示中は振動を与えたり、SDカードを抜かないでください。

外部メディアを再生する

SDカードに記録されたデータを再生

- ・ 再生メディアの優先度は、ディスク>SDカードの順番です。優先順位の高いメディアがセットされていると、下位のメディアは認識されません。
- ・ SDカードの読み込み中・再生中、又は動作終了直後に、取り出したり電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
- ・ 記録状態によっては再生できない場合があります。

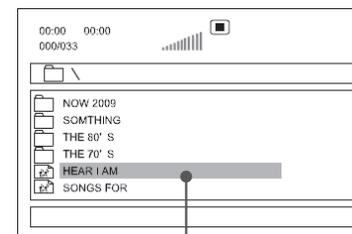
- 1 他のメディアが挿入されていないことを確認します。
- 2 本体の電源を入れ、外部メディアを本体のSDカードスロットに差し込みます。



- 3 AV、TVモードでご使用中の場合は、「機能切替」ボタンでDVDモードにします。
- 4 液晶画面にはファイル/フォルダが表示されます。

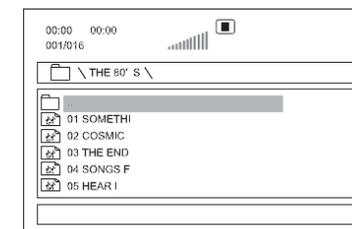


- 5 「方向」ボタンで開きたいファイルにカーソルをあわせて選択します。



選択したファイル
(オレンジ色のカーソル)

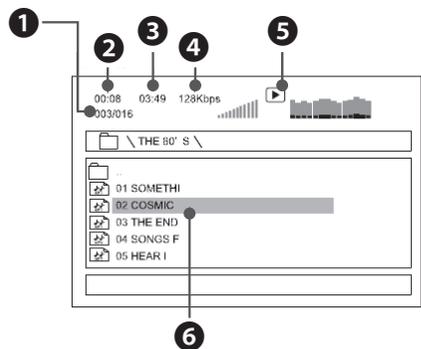
- 6 フォルダを選択した後「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押すとフォルダ内を見ることができます。上位のフォルダに移動するときは「◀」ボタンを押すか、一番上のフォルダマークを選択し「決定」ボタンを押します。



外部メディアを再生する

SDカードに記録されたデータを再生

音楽ファイルの場合



- ①ファイル（曲）番号/総ファイル数
- ②経過時間
- ③演奏時間
- ④ビットレート
- ⑤再生状況
- ⑥選択中のファイル
(オレンジ色のカーソル)

再生

リモコンの「決定」ボタンまたは「再生/一時停止」▶|| ボタンを押すと再生が始まります。フォルダ内の再生が終わると停止します。

一時停止

DVD/CDと同様の操作になります。P14参照

停止

DVD/CDと同様の操作になります。P15参照

早送り/早戻し

DVD/CDと同様の操作になります。P15参照

外部メディアを再生する

SDカードに記録されたデータを再生

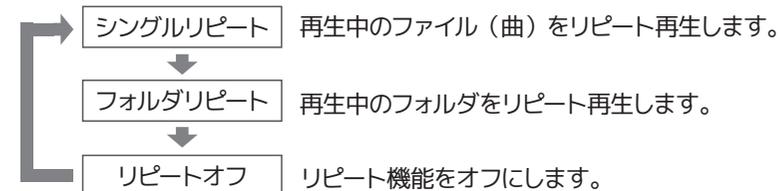
次へ/前へ

DVD/CDと同様の操作になります。P15参照

リピート再生

「リピート」ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で切り替わります。



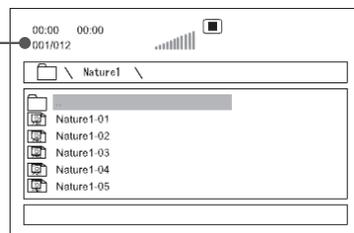
外部メディアを再生する

外部メディアを再生する

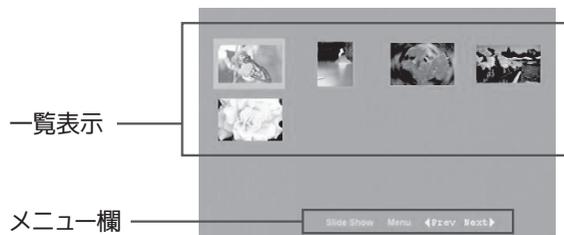
SDカードに記録されたデータを再生

画像ファイルの場合

ファイル番号/
総ファイル数



- ① リモコンの「決定」ボタンまたは「再生/一時停止」▶|| ボタンを押すと、選択したファイルからスライドショー再生が始まります。
- ② 再生中に「メニュー」ボタンを押すと、ファイル一覧画面に戻ります。
- ③ ファイラー一覧画面で「次へ」▶▶| ボタンを押すと、次のページが表示されます。「前へ」|◀◀ ボタンを押すと前のページが表示されます。
- ④ スライドショーが終わると停止し、ファイル一覧画面に戻ります。再生中に「停止」■ ボタンを押すと、下記メニュー画面が表示されます。



Slide Show 「決定」ボタンを押すとスライドショーを始めます。
Menu 「決定」ボタンを押すとリモコンの操作案内画面が表示します。
Prev 前のページへ
Next 次のページへ

外部メディアを再生する

SDカードに記録されたデータを再生

一時停止

DVD/CDと同様の操作になります。P14参照

停止

「メニュー」ボタンを押します。

早送り/
早戻し

DVD/CDと同様の操作になります。P15参照

前次へ/
次へ

DVD/CDと同様の操作になります。P15参照

SDカードに記録したデータを再生

ワイプ方法選択

スライドショー再生中に、「プログラム」ボタンを押すと画像の表示切換方法を選択できます。押すごとに下記の順序で切り替わります。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1 WIPE TOP(上から下) | 10 EXTED FROM CENTER V(中央から左右) |
| 2 WIPE BOTTOM(下から上) | 11 COMPRESS TO CENTER H(上下から中央) |
| 3 WIPE LEFT(左から右) | 12 COMPRESS TO CENTER V(左右から中央) |
| 4 WIPE RIGHT(右から左) | 13 WINDOW H(上から下へ同時) |
| 5 DIAGONAL WIPE LEFT TOP(左上から右下) | 14 WINDOW V(左から右へ同時) |
| 6 DIAGONAL WIPE RIGHT TOP(右上から右下) | 15 端から中央に向けて拭く(上下左右から中央) |
| 7 DIAGONAL WIPE LEFT BOTTOM(左下から右上) | 16 上から移動(上から下へ画像が移動) |
| 8 DIAGONAL WIPE RIGHT BOTTOM(右下から右上) | 17 WIPE TOP(機能終了) |
| 9 EXTED FROM CENTER H(中央から上下) | |

外部メディアを再生する

SDカードに記録されたデータを再生

ズーム

① 「ズーム」 ボタンを押します。

押すごとに下記の順序で倍率はかわります。



② 「方向」 ボタンで画像の位置を移動できます。

※ズーム100%以上の場合のみ移動ができます。

③ 「決定」 ボタンで通常の倍率に戻ります。

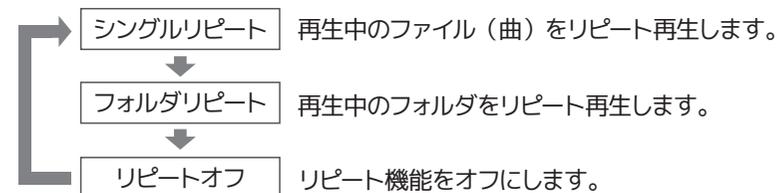
画像の回転

- ・「▲」 ボタンを押すと画像が上下に反転します。
- ・「▼」 ボタンを押すと画像が左右に反転します。
- ・「◀」 または 「▶」 ボタンを押すと画像が回転します。

リピート再生

「リピート」 ボタンを押します。

押すごとに以下のように下記の順序で切り替わります。



テレビを見るための準備

注意事項

本製品は、地上波デジタルフルセグ・ワンセグチューナーを内蔵しています。屋外や車で地上波デジタル放送と同じ内容の番組を見ることができます。

⚠ 注意

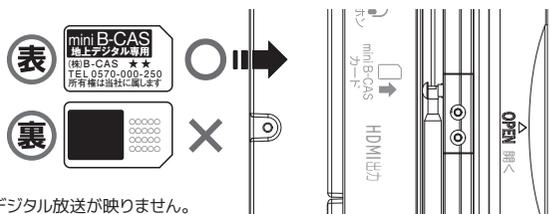
- ・フルセグ・ワンセグ放送は視聴対応地域のみで視聴できます。
- ・視聴可能地域においても環境等により受信状態が悪くなったり、受信できない場合があります。
- ・本製品はフルセグ・ワンセグ放送が開始されている地域、電波の届く範囲で視聴できます。
- ・車内等で受信する場合は、一部地域や地形、構造物により電波がさえぎられ、受信できない場合がございます。
- ・フルセグ・ワンセグ放送は視聴対応地域のみで視聴できますが、ワンセグ放送のエリア内であっても地形や建物で電波は遮られる場所や、電波の弱い所、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない場所では受信できない場合があります。
- ・フルセグ・ワンセグ放送は複数の放送局（中継局含む）によってサービスされているため、電車や車などで移動している場合は異なるエリアに入ると受信チャンネルが変わることがあります。その場合はチャンネルの再設定の必要があります。
- ・本機のフルセグ・ワンセグチューナーは日本国内専用のため、フルセグ・ワンセグ以外の視聴はできません。
- ・ワンセグは携帯端末用の放送サービスのため、本製品では画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでないことがあります。
- ・携帯端末でのワンセグ視聴ができる場所でも、本製品では視聴できない場合がございます。
- ・ワンセグ放送は移動端末向けの低解像度映像のため、大きな画面では画像が粗くなります。
- ・ワンセグ放送は地上波デジタル放送、地上波アナログ放送に比べ数秒音声や映像が遅れます。
- ・ワンセグ放送とフルセグ放送では、同一場所でも受信状態が異なります。また使用する受信機によっても受信状態が変わります。
- ・設定によりフルセグとワンセグの優先受信を変更できますが、放送の特性でフルセグ放送よりもワンセグ放送のほうが受信しやすくなっています。
- ・フルセグ放送が受信困難な場合、受信設定をワンセグの受信を優先にご視聴ください。
- ・本機はデータ放送、緊急警報放送には対応していません。
- ・受信できる放送局の電子番組表を同時に表示させることはできません。
- ・受信感度が足りない場合は外部アンテナを接続してください。
- ・BS/CS放送には対応していないため視聴できません。
- ・字幕放送には対応していません。
- ・地域が変わった場合はチャンネルスキャンを再度実施してください。

テレビを見るための準備

テレビを見るための準備

miniB-CASカードを挿入する

- 1 mini B-CASカード台紙に記載の文面をよくお読みください。
※パッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。
- 2 内容に同意の上でmini B-CASカードを台紙からはずします。
- 3 テレビ本体の電源がオフになっていることを確認し、mini B-CASカードを正しい向きで挿入口にしっかり奥まで差し込んでください。



- ※mini B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。
- ※mini B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
- ※mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。
故障や破損の原因になります。
- ※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

本体背面

miniB-CASカードを抜くとき

テレビ本体の電源をオフにして、mini B-CASカードを一度押してから、ゆっくりと抜いてください。

mini B-CASカードの取り扱いについて

- ・mini B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードに貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- ・mini B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- ・裏の端子面には触れないでください。
- ・分解・加工はしないでください。
- ・破損などによりmini B-CASカードの再発行を依頼する場合は費用が必要です。
詳しくは、mini B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

mini B-CASカードについてのお問い合わせ先

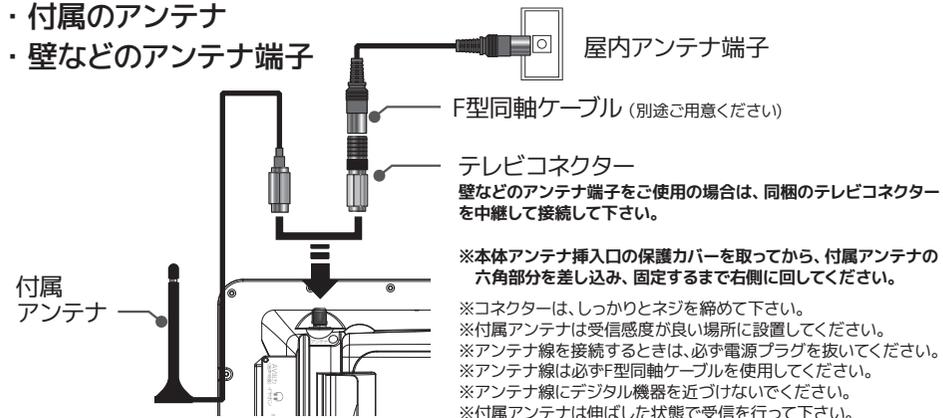
㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL:0570-000-250 (2016年3月現在)

テレビを見るための準備

アンテナの接続

テレビ放送を受信するためには、必ずアンテナを接続する必要があります。下記のいずれかのアンテナをつけてください。

- ・付属のアンテナ
- ・壁などのアンテナ端子



放送局のスキャン

- 1 本体側面の電源スイッチを「ON」にスライドします。
- 2 本体の「機能切換」ボタンまたはリモコンの「機能切換」ボタンを押して『TV』モードに切り換えるとLoading…と表示されます。
- 3 『インストールガイド』が表示されたら「決定」ボタンを押します。
- 4 チャンネルサーチが開始されます。
- 5 オートスキャン終了後、自動で放送画面となります。「▲」「▼」ボタン又はリモコンの「数字」ボタンで放送局の選択ができます。
- 6 再度オートスキャンを行う場合は、リモコンの「サーチ」ボタンを押します。又は「設定」ボタンを押して『チャンネルサーチ』から『自動スキャン』を選択してください。

放送局のスキャン

- ※放送局のスキャンは、屋内アンテナ端子をご使用して行うことをお勧め致します。
- ※付属アンテナをご使用の場合
 - ・窓際や電波状況の良い場所をお選びになって行ってください。
 - ・放送局が見つからない場合は付属アンテナの位置や向きを変えて再度スキャンを行ってください。

テレビを見る

基本的な操作

テレビを見るには、事前にスキャンが必要です。P34放送局のスキャンをお読みの上、スキャンを行った状態からテレビをご覧ください。

電源を
つける

- 1 本体側面の電源スイッチを「オン」にスライドします。
- 2 「機能切換」ボタンを押して本機を『TVモード』に切替えます。

チャンネル
を変える

- 1 リモコンの「数字」ボタンで、見たい番組を直接選択できます。
- 2 リモコンの「▲」「▼」ボタンまたは本体の「▶▶」「◀◀」ボタンを押すとチャンネルの番号順に選択できます。

音量を
調節する

本体又はリモコンの「音量- / 音量+」ボタンを押すと、音量が調節できます。

消音する

「消音」ボタンを押すと音が消えます。もう一度「消音」ボタンを押すと元の音量に戻ります。

チャンネル情報
を表示する

「表示」ボタンを押すと現在のチャンネル情報が表れ、左端に下記のアイコンが表示されます。

フルセグ受信中



ワンセグ受信中



テレビを見る

基本的な操作

音声多重放送に対応している番組のとき、音声の選択ができます。

音声
切換

- 1 「音声切換」ボタンを押します。
- 2 「▶」「◀」ボタンを押してお好みの音声に切替えます。

主+主	主音声のみが聞けます
副+副	副音声のみが聞けます
主+副	主音声+副音声が聞けます

番組表の
表示

- 1 「プログラム/番組表」ボタンを押すと視聴中の局の番組表を表示します。
- 2 「▶」「◀」ボタンを押すとチャンネルが切替わります。

「黄」ボタンを押すと番組詳細の次ページが表示されます。
「青」ボタンを押すと番組詳細の前ページが表示されます。
「赤」ボタンを押すと番組表の次ページが表示されます。
「緑」ボタンを押すと番組表の前ページが表示されます。

※当機のEPGは、マルチチャンネルの対応をしておりません。
※ワンセグは、対応しておりません。
※番組表と録画管理が同じ表示となっております。

テレビを見る

基本的な操作

タイムシフト再生

テレビ視聴中でも最初から再生したり、途中で一時停止したりして鑑賞を楽しむことができます。

※タイムシフト再生中に画面に『録画中』の表示が出ますが、保存はされません。ご注意ください。

- 1 テレビ視聴中に「再生/一時停止」ボタンを押します。
- 2 『タイムシフト開始中』と表示され、表示が消えると一時停止の状態になります。
- 3 再度「再生/一時停止」ボタンを押すと、画面下部にバーが表示され、タイムシフト再生が始まります。

再生/一時停止ボタン	再生/一時停止を行います
停止ボタン	「停止/放送」の画面で決定ボタンを押すとタイムシフト再生を終了します
早送りボタン	早送りをします
早戻しボタン	早戻しをします
表示/INFOボタン	情報が表示されます。表示を消すにはもう一度ボタンを押します。

※「タイムシフト」機能は、一時的に録画を行ってファイルとして保存します。タイムシフト開始時に「ディスク容量が満杯です」と表示された場合は、録画番組を消すなどしてハードディスクの空き容量を確保してください。

設定ボタンでできること

テレビ視聴中に「設定」ボタンを押し「◀」「▶」ボタンで『設定』にカーソルを合わせ「決定」ボタンを押します。

アスペクト比の変更

- 1 「▲」「▼」ボタンで『アスペクト比』にカーソルを合わせます。
- 2 「◀」「▶」ボタンで『4:3/16:9/16:9フル』から選択をし「設定」ボタンで決定をします。
- 3 再度「設定」ボタンを押すとテレビ視聴画面に戻ります。

テレビを見る

設定ボタンでできること

解像度の変更

- 1 「▲」「▼」ボタンで『解像度』にカーソルを合わせます。
- 2 「◀」「▶」ボタンで『480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p(60Hz)』から選択をし「設定」ボタンで決定をします。
- 3 再度「設定」ボタンを押すとテレビ視聴画面に戻ります。

受信切換フルセグ・ワンセグ

- 1 「▲」「▼」ボタンで『受信切換』にカーソルを合わせます。
- 2 「◀」「▶」ボタンで『フルセグ/ワンセグ/自動』から選択をし「設定」ボタンで決定をします。
- 3 再度「設定」ボタンを押すとテレビ視聴画面に戻ります。

工場出荷時設定

工場出荷時の設定に戻します。

- 1 「方向」ボタンで『工場出荷時設定』にカーソルを合わせます。
- 2 「決定」ボタンを押します。
- 3 初期設定に戻しますか?と表示されます。
- 4 初期設定をする場合は「決定」ボタンを押します。チャンネルサーチを始めます。チャンネルサーチが終了するとテレビ視聴状態になります。
- 5 中止する場合は「戻る」ボタンを押します。設定メニューに戻ります。

デバイス情報

本機の情報を表示します。

【テレビ】録画・予約・再生

注意事項

⚠ 注意

- ・録画時間の目安は、フルセグ放送の録画で約5時間程度、ワンセグ放送の録画で約150時間程度です。
※番組のデータ量によって録画時間は変わります。
- ・何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れた等）で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。
- ・電波状況により受信している電波が約10秒間途絶えると、録画が中断します。ご注意ください。
- ・DVDやHDMIなど外部入力映像などを記録することはできません。テレビ放送のみ録画可能です。
- ・本体電源がオンの状態でないと、録画はされません。（スタンバイ状態の時は録画可能です）
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどでの使用や視聴はできません。
- ・録画中は、すでに録画した番組を再生することはできません。
- ・同じ時間帯には1番組しか録画できません。
- ・本機ではじめて録画する場合、試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権保護のため本機で録画した番組は移動（ムーブ）や複製（コピー）をすることはできません。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴する事が出来ます。同機種であっても視聴できません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた番組が視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - ・録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - ・録画した番組をメールなどで他人へ送る。
 - ・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

【テレビ】録画・予約・再生

録画・予約

録画内蔵メモリについて

- ・本機内蔵メモリの録画容量は32GBです
- ・メモリに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・本体内蔵メモリを交換することは出来ません。
- ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多量に劣化する場合がありますのでご了承ください。
- ・録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。
- ・物理的な衝撃（落下、重量物を本製品にぶつけるなど）を与えないでください。
- ・棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
- ・分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。
- ・電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- ・高温になる場所（自動車内、直射日光の当たる窓際など）で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、風通しの良い場所に設置してお使いください。
- ・本機の電源を正しく切らなかった場合、内蔵メモリに録画されているすべての番組が視聴できなくなる場合があります。
- ・録画した番組に対する保証は致しかねますので、予めご了承ください。
- ・外部入力を録画することは出来ません。
- ・録画中にメモリ容量が無くなった場合、録画が中断するまでのデータは保存されますが、それ以降は保存されません。

録画・予約をする

見ている番組を録画する

- ① リモコンの「スロー/録画」ボタンを押すと、視聴中の番組の録画が始まります。
- ② 録画終了は「停止」■ボタンを押します。
- ③ レコーダー停止しますか?と表示されたら「決定」ボタンを押して再生を停止します。

※放送局の変更があった場合、予約通りに動作しないことがあります。
※複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
※メモリ容量が不足している場合、「ディスク容量が満杯です」と表示され録画が出来ません。
※録画中にメモリ容量が不足した場合、「ディスク容量が満杯です」と表示され録画が停止します。
※録画の途中で電源をオフにした場合、録画は停止します。

【テレビ】録画・予約・再生

録画・予約

- 1 本機をTVモードに合わせ、リモコンの「設定」ボタンを押します。
- 2 『録画管理』に黄色のカーソルを合わせ「決定」ボタンを押します。
- 3 「▼」ボタンを押し『番組表録画』にカーソルを合わせ「決定」ボタンを押します。
- 4 番組一覧から、指定の番組を「方向」ボタンで選び、「決定」ボタンを押すと、録画予約確認画面が表示されます。
- 5 予約録画をする場合は「決定」ボタンを押します。予約リスト表示になり予約完了し、予約内容が確認できます。

※番組表は表示されるまでに時間がかかる場合があります。
※本体電源がオンの状態でないと録画はスタートしません。(スタンバイ状態の時は録画可能です)
※テレビ視聴時に、リモコンの「A-B/予約リスト」ボタンを押すと、予約一覧が確認できます。
※ワンセグは番組表録画に対応していません。

番組表から
予約録画をする

- 3 「▼」ボタンを押し『指定録画』にカーソルを合わせ「決定」ボタンを押します。
- 4 『チャンネル』を「◀」「▶」ボタンで設定します。「▼」ボタンで次の項目へ進みます。
- 5 『録画日付』を「数字」ボタンで設定します。「▼」ボタンで次の項目へ進みます。
- 6 『開始時間』と『終了時間』を「数字」ボタンで設定します。「▼」ボタンで次の項目へ進みます。
- 7 『繰り返し』を設定します。『一回/毎日/毎週』から設定します。
- 8 「決定」ボタンを押すと予約が完了します。
※指定した日時に本体電源がオンの状態でないと録画はスタートしません。(スタンバイ状態の時は録画可能です)

録画する日時を指定して録画予約する

【テレビ】録画・予約・再生

録画・予約

録画予約の設定を変更する

- 1 本機をTVモードに合わせ、リモコンの「設定」ボタンを押します。
- 2 『録画管理』に黄色のカーソルを合わせ「決定」ボタンを押します。
- 3 「▼」ボタンを押し『予約リスト』にカーソルを合わせ「決定」ボタンを押します。

「赤」ボタンで、予約の追加ができます。
「緑」ボタンで、予約の変更が出来ます。
「青」ボタンで、予約の削除が出来ます。

※追加・変更の方法は上記『録画する日時を指定して録画予約する』をご覧ください。
※テレビ視聴中に「A-B/予約リスト」ボタンを押して、上記3.より設定も可能です。

録画時間について

録画総時間を延ばすためには、受信設定をあらかじめ「ワンセグ」にしておくか、ワンセグのチャンネルを指定して録画予約をする必要があります。「受信切換」が「自動」の状態だとフルセグ優先となり録画時間は限定されます。

※電波状況により録画が停止する場合があります。
※受信設定に関してはP38『フルセグ・ワンセグ受信切換』をご覧ください。
※メモリ残量が10MB以下の場合、予約が不可能となります。10MB以上ある場合予約が可能です。容量が無くなると録画が中断されますので、事前にメモリ残量をご確認ください。→P44

【テレビ】録画・予約・再生

【テレビ】録画・予約・再生

【テレビ】録画・予約・再生

録画した番組を再生・削除する

再生の基本操作

- 1 本機をTVモードに合わせ、リモコンの「**アンゲル/録画リスト**」ボタンを押します。
- 2 録画リストが表示されます。「**▲**」「**▼**」ボタンでカーソルを移動し「**決定**」ボタンを押すと録画した番組のプレビュー再生と、簡単な情報を表示します。
※「再生/一時停止」ボタンを押すと、プレビュー再生の再生/一時停止を行います。
- 3 「**赤**」ボタンを押すと全画面再生を行います。
- 4 再生を停止するには、「**停止**」ボタンまたは「**リピート/戻る**」ボタンを押します。

録画番組の再生中に出来るリモコン操作

再生/一時停止ボタン	再生/一時停止を行います
停止ボタン	再生を停止します
早送りボタン	早送りをします
早戻しボタン	早戻しをします
次へボタン	録画リストの次の番組を再生します
前へボタン	録画リストの前の番組を再生します
音声切換ボタン	音声多重放送に対応している番組のとき、音声の選択が出来ます
表示/INFOボタン	番組情報が右下に表示されます。表示を消すにはもう一度ボタンを押します

内蔵メモリの初期化

何らかの原因で録画できない等の症状が表れた場合は内蔵ディスクの初期化をお勧めします。

※初期化を行うと録画番組が全て消去されます。ご注意ください。

- 1 本機をTVモードに合わせ、リモコンの「**設定**」ボタンを押し『**メディア再生**』を選択し「**決定**」ボタンを押します。
- 2 『**メモリー管理**』→『**フォーマット**』→『**Usb/C**』の順で「**決定**」ボタンを押します。
- 3 フォーマットしますか?と表示されたら「**決定**」ボタンをおすと内蔵メモリの初期化が行われます。

【テレビ】録画・予約・再生

録画した番組を再生・削除する

録画した番組を削除する

- 1 本機をTVモードに合わせ、リモコンの「**アンゲル/録画リスト**」ボタンを押します。
- 2 「**▲**」「**▼**」ボタンで削除したい番組にカーソルを合わせます。
- 3 「**黄**」ボタンを押すと録画リストの左端にチェックマークが付きます。もう一度「**黄**」ボタンを押すとチェックマークが外れます。
- 4 「**決定**」ボタンを押すと、『**削除しますか?**』と表示されますので、再度「**決定**」ボタンを押します。
- 5 削除が完了します。

内蔵メモリの残量を確認する

- 1 本機をTVモードに合わせ、リモコンの「**設定**」ボタンを押します。
- 2 「**◀**」「**▶**」ボタンで『**メディア再生**』にカーソルを合わせ「**▼**」ボタンを押します。
- 3 『**メモリー管理**』を選択し「**決定**」ボタンを押します。
- 4 『**記録デバイス**』を選択し「**決定**」ボタンを押します。
- 5 『**ディスク**』の項目にカーソルを合わせると現在の内蔵メモリの残量が確認できます。

外部機器と接続する

外部機器と接続する

⚠ 接続する前に

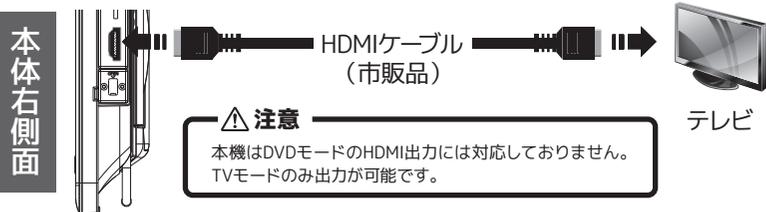
本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

接続について

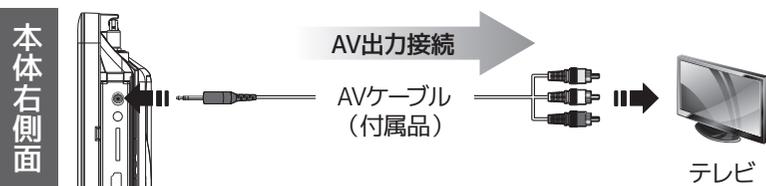
本機の映像を、テレビに繋いで、楽しむことができます。
接続の詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。

HDMIケーブル
で接続する

- ・ HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
- ・ HDMI機器との相性により音声がでない場合があります。
- ・ 当製品のHDMIバージョンは『1.3』です。機器間のリンク機能には対応しておりません。

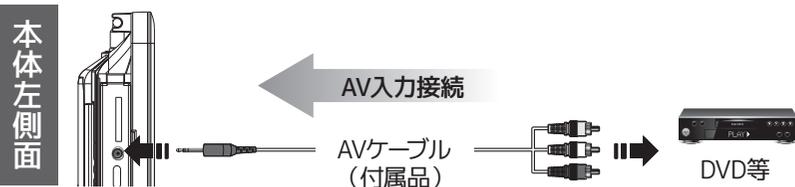


AVケーブル
で接続する



DVD等の映像を、本機に繋いで楽しむことができます。

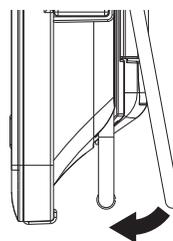
AVケーブル
で接続する



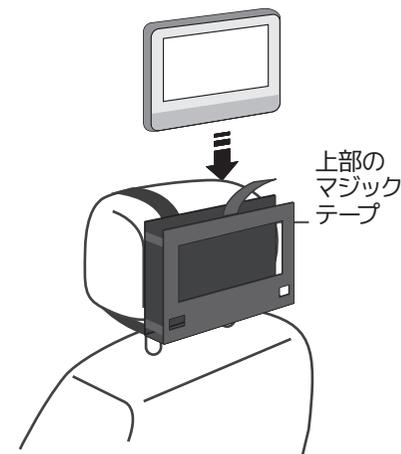
車載用バッグの取り付け方

車載用バッグの取り付け方

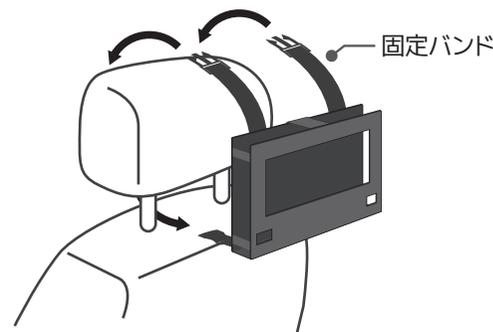
1 背面のスタンドたたみます。



3 上部のマジックテープを開け、たたんだ状態の本機を入れてマジックテープを留めてください。



2 車のヘッドレストに、車載用バッグを取り付けます。固定バンドの長さを調節しながら固定してください。



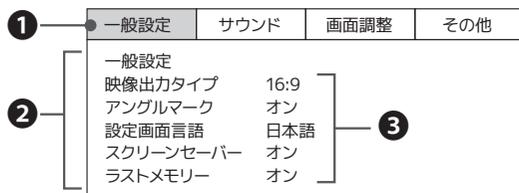
⚠ 注意

- ・ 車内に放置すると、社内が高温になった場合故障する恐れがあります。ご注意下さい。
- ・ ヘッドレストの形状によっては取付できない場合があります。ご了承ください。

システム設定

システム設定

- ① 本機をDVDモードに合わせ、リモコンの「設定」ボタンを押します。 ※DVDの再生/一時停止中は表示しません。

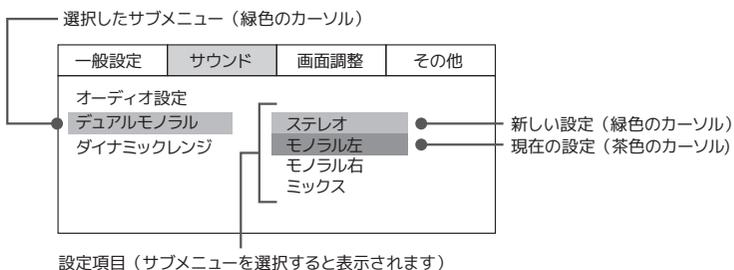


- ①メインメニュー
②サブメニュー
③設定項目

- ② 「◀」「▶」ボタンでメインメニューを選択します。選択されたメインメニューは黄色のカーソルで表示されます。

- ③ 「▼」ボタン又は「決定」ボタンでサブメニュー欄にカーソルを移動します。

- ④ 「▲」「▼」ボタンで設定したいサブメニューを選択し「決定」ボタンを押します。緑色のカーソルが表示され、設定項目が選択できます。



設定項目（サブメニューを選択すると表示されます）

- ⑤ 「▲」「▼」ボタンで設定項目を選択し「決定」ボタンを押します。他にも設定をするときは「◀」ボタンを押して、④以降の操作を繰り返します。メインメニューに戻る時は「◀」ボタンを何度か押して、サブメニューが緑色のカーソルで選択されていない状態までもどしてください。

- ⑥ システム設定を終了するときは「設定」ボタンを押します。

システム設定

システム設定

一般設定

※一部の映像には適用されない場合があります。

項目	設定	説明
映像出力タイプ	4:3PS	4:3サイズの画面です。ワイド画面の映像は一部分をカットして、画面全体に表示します。
	4:3LB	4:3サイズの画面です。ワイド画面の映像は、上下に黒い帯が出ます。
	16:9	16:9画面用の設定です。
アングルマーク	オン	オンにすると、ディスクがアングル切り替えに対応している場合に画面上にアングルマークのアイコン（右図）が表示されます。
	オフ	
設定画面言語	英語	画面表示を日本語、英語から選択できます。
	日本語	
スクリーンセーバー	オン	オンにすると、再生していない状態で約3分間操作を行わないとスクリーンセーバーが作動します。
	オフ	
ラストメモリー	オン	オンにすると、停止又は電源を切ったときのディスクの場所を記憶し、次に電源を入れたときに記憶した場所から再生します。
	オフ	別のDVDを再生したり、「停止」ボタンを2回押すと記憶が消去されます。



サウンド

※変更が適用されないディスクもあります。調整が微少で変化が分からない場合があります。

項目	設定	説明
デュアルモノラル	ステレオ	通常のステレオ
	モノラル左	左側の音のみ両側のスピーカーから出ます。
	モノラル右	右側の音のみ両側のスピーカーから出ます。
	ミックス	左右ミックスのモノラル
ダイナミックレンジ	FULL～OFF	ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、音量の幅を設定し迫力を調節します。

システム設定

システム設定

画面調整

項目	設定	説明
鮮明度	高/中/低	鮮明度を 高/中/低 から選択できます。
明るさ	-16+16	画面の明るさを「◀」「▶」ボタンで調節できます。 -16 ~ +16の間で設定可能です。
コントラスト	-16+16	画面のコントラストを「◀」「▶」ボタンで調節できます。 -16 ~ +16の間で設定可能です。
彩度	-9 ~ +9	画面の彩度を「◀」「▶」ボタンで調節できます。 -9 ~ +9の間で設定可能です。
色調	-9 ~ +9	画面の色調を「◀」「▶」ボタンで調節できます。 -9 ~ +9の間で設定可能です。

その他

※この項目は、ディスクやメディアの再生を完全に停止した状態、
又はディスクやメディアを本体から取り出した状態で実行して
ください。

項目	設定	説明								
映像出力方式	PAL	海外で使われているテレビの方式です。								
	オート	方法を自動で選択します。								
	NTSC	日本で使われているテレビの方式です。通常時はNTSCに設定してください。								
PBC	オン/オフ	VCDの再生方法を選択します。								
音声設定	フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語、英語	ディスクに複数の音声記録されている場合は、機能の音声言語を選択できます。 ※設定した音声が収録されている場合に設定が可能です。								
メニュー言語	英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語	ディスクに複数のメニュー言語が記録されている場合は、メニュー言語を選択できます。 ※設定した音声が収録されている場合に設定が可能です。								
視聴制限	1 KID SAFE 2 G 3 PG-G 4 PG-13 5 PG-R 6 R 7 NC-17 8 無制限	視聴年齢制限を 1 から 8 までのレベルから設定できます。 1 2 3 4 5 6 7 8 制限大 ← → 制限小 変更するにはパスワードが必要です。下記『パスワード設定』をご覧ください。								
パスワード	1. リモコンの数字ボタンで『旧パスワード』（数字4桁）を入力します。初期状態のパスワードは『8888』です。 2. 『新パスワード』に希望の番号（数字4桁）を入力します。 3. 『パスワード確認』に、同じ番号を入力し「決定」ボタンを押して確認します。 4. 設定完了です ※初期パスワードは、パスワードを変更しても有効です。	<table border="1"> <tr> <td>旧パスワード</td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>新パスワード</td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>PWD確認</td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">OK</td> </tr> </table>	旧パスワード	<input type="text"/>	新パスワード	<input type="text"/>	PWD確認	<input type="text"/>	OK	
旧パスワード	<input type="text"/>									
新パスワード	<input type="text"/>									
PWD確認	<input type="text"/>									
OK										
設定初期化	実行	初期設定(お買い上げ時)の状態に戻します。 パスワードは初期化されませんのでご注意ください。								

故障かも…と思ったときは

製品に不具合が見られたときは、以下の点をご確認ください。
また、一度本体の電源スイッチをOFFにしてから再度起動してみてください。
その他ご不明な点がある時は、修理受付窓口までお問い合わせください。

項目	説明
電源が入らない	電源コードは正しくコンセントに差し込まれていますか？
製品本体が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> 主電源は入っていますか？ ACアダプター、DCアダプターは接続されていますか？
ディスクを再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。 ディスクのリージョンコードは対応していますか？本機で再生できるのは"2"又は"ALL"のみです。 ディスクを上下逆にセットしていませんか？レーベル面を上にしてセットしてください。 視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、本機の『視聴制限』の設定をご確認ください。 本機を冷たい場所から急に暖かい場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源を抜いて、本機の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。 ファイナライズ処理されたディスクですか？本機はファイナライズ処理されていないディスクの再生はできません。 DVDモードで再生していますか？リモコン又は本体の「機能切換」ボタンを押して、DVDモードで再生を行ってください。 ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください
画像・音声が乱れる音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 映像出力方式は正しく設定されていますか？日本はNTSC方式です。 電波を発生する機器の近くで使用していませんか？ 温度が高い場所や低い場所で使用していませんか？本機の使用環境は0℃～40℃です。 消音になっていませんか？リモコンの消音ボタンを押してご確認ください。 音量がゼロになっていないかご確認ください。
アングル切換ができない	アングル切換対応のディスクではない可能性があります。ディスクをご確認ください。
音声切換ができない	再生しているディスクに、複数の音声記録されていない可能性があります。ディスクをご確認ください。
字幕の切換ができない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されていない可能性があります。ディスクをご確認ください。

故障かも…と思ったときは

項目	説明
テレビ・AV機器接続時に画像や音声が乱れる	プレーヤーの出力端子と、接続している機器の入力端子が正しく接続されていることをご確認ください。 テレビのチャンネルはプレーヤーからの入力に合っていますか。 テレビの説明書をご参照ください。
音が出ない	・プレーヤーやテレビの画面や信号に関する設定をご確認ください。 ・ケーブルに緩みなどが無いことをご確認ください。
4:3PS表示ができない	4:3PS(パンスキャン)はディスクに4:3PSサイズで収録されている映像を表示するための機能です。
リモコンの操作ができない	・電池の+/-は間違っていないですか?電池の方向を確認してください。 ・電池が消耗していませんか?新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本体受光部に向けて操作してください。 ・本機の受光範囲は約3m以内です。3mを超える距離からの操作はできません。
テレビが受信できない	・放送の受信地域であることをご確認ください。 ・アンテナを接続して電波受信できる位置に設置してください。
予約録画したはずの番組が録画リストにない	・内蔵メモリの容量不足の可能性はありませんか?不良な録画を削除してください。 ・電波状況により受信している電波が約10秒間途絶えると、録画が中断します。ご注意ください。 ・放送開始時刻が変更された可能性はありませんか? ・タイムシフト再生を行っていませんか?タイムシフト再生中に画面上に『録画中』の表示が出ますが、保存はされません。 ・予約時間に本体の電源はオンになっていましたか?オンの時でない録画はできません(スタンバイ状態での録画は可能です)
SDカードが認識しない	・正しく接続していますか?奥までしっかりと差し込んでください。 ・カードの容量をご確認ください。本機に対応しているメモリの最大容量は32Gまでです。
ファイルを再生できない	・ファイルのフォーマットや拡張子が準拠していますか?P8を参照してご確認ください。 ・ファイルが壊れていないか確認してください。
録画ができない	・内蔵メモリを初期化してください。P43を参照してご確認ください。 初期化を行うと録画番組は消えてしまいます。ご了承下さい。

製品仕様

画面サイズ	11.6インチ TFT液晶パネル			
アスペクト比	16:9			
解像度	1366 × 768 RGB			
受信周波数	フルセグTV	UHF13 ~ 62ch / 473MHz ~ 767MHz		
	ワンセグTV	UHF13 ~ 62ch / 473MHz ~ 767MHz		
再生可能ディスク	DVD,DVD-R/-RW,DVD+R/+RW,CD,CD-R/-RW			
再生可能メディア	SD/SDHC (最大32GB Class2~Class10まで対応)			
対応フォーマット	JPEG、MP3、WMA			
内蔵メモリ	32GB			
防水レベル	IPX7			
録画可能時間	フルセグTV:約5時間			
	ワンセグTV:約150時間			
入力端子	DC12V入力端子、アンテナ端子、AV端子、mini B-casカードスロット			
出力端子	HDMI端子(フルセグ・ワンセグTV専用)、AV端子(DVD、フルセグ、ワンセグTV)、イヤホン端子、SDカードスロット			
スピーカー	Φ30mm 8Ω 2×1.5W			
電源	AC 100V-240V, 50-60Hz	DC 12V 1.5A		
内蔵バッテリー	7.4V 2,000mAh (リチウムイオン)			
バッテリー充電時間	約4時間			
連続再生時間(バッテリー使用時)	フルセグTV	ワンセグTV	録画	DVD
	2時間	2時間	1時間30分	2時間
消費電力	最大16W			
動作保証温度	0 ~ 40°C(結露などは避けてください)			
本体重量	約1.2kg			
本体サイズ	約320×220×44mm(突起部含まず)			
付属品	ACアダプタ、DCアダプタ(シガーソケット用)、アンテナ、テレビコネクター、AVケーブル、リモコン、リモコン用ボタン電池、電池フタ専用オープナー、車載用バッグ、mini B-CASカード、取扱説明書(保証書)			

※連続再生時間・充電時間・録画可能時間はあくまでも目安であり、使用状況・環境によって異なる場合がございます。

※製品仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

アフターサービスとお問い合わせ

修理を依頼される前にP50~51ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

保証書を必ずご確認ください

保証書については、必ず「お買上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。

※本機を分解すると、保証が無効になります。

修理をご依頼される場合

修理を依頼される前にP50~51ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。

それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買上げ店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償修理させていただきます。

修理をご依頼される時にご準備いただきたい内容

- ・お客様の氏名/住所/電話番号
- ・製品名/型番/お買上げ日/お買上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

本製品に関するお問合せおよび修理に関するお問合せ

株式会社グランプレ【カスタマーサポート】

 **0570-020-511** 平日10:00~12:00 / 13:00~17:00

【Eメール】 support@granple.co.jp 【H P】 <http://www.granple.co.jp>

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2-2 TRビル6F

×毛

×毛

■

×毛

■

×毛